

# 地域の教育に心を燃やした「日本のペスタロッチ」

ひきた 疋田 浩四郎

今からおおよそ140年前の明治期に、あきる野市西部に位置する戸倉地区に教育を通してよい良い地域にしていこうと尽力した先生がいました。名前は疋田浩四郎。子どもたちへの教育、いわゆる「学校教育」だけでなく、「青年教育」にも奔走し、地域全体から敬慕されている先人を紹介します。

## 戸倉に生まれる

浩四郎は嘉永2(1849)年、摂津国有馬郡三田(現在の兵庫県三田市)に藩士の四男として生まれました。幼少期から勉学に励み、8歳の頃から三田藩の学校である造士館に通い始めます。その後、16歳で江戸へ行き、国学や儒学などを学び、地元三田へ帰郷した後も数学や英語などを学び続けました。嘉永6(1853)年、浩四郎が4歳の頃、ペリーが黒船で浦賀に来ています。勉学に励んだ青少年期は鎖国から開国へと日本全体が大きく変わろうとする時代でした。



戸倉小学校校舎

明治5(1872)年、23歳となった浩四郎は再び上京し、神奈川県権令の大江卓のもとに書生として住み込み、翌年(1873年)、教師を養成する師範学校である横浜啓行堂に入学しました。

## 戸倉での活躍

浩四郎が赴任した頃は「松方デフレ」による全国的な不況の中にあり、戸倉村ももれなくその波に飲まれていました。政治面での混乱もあり校舎の軒は傾き雨漏りをし、廃寺に等しい状況であったようです。教員への給料不払いという苦境も数年間あり、厳しい生活を強いられた中での教員生活だったことが伺い知れます。生活費を稼ぐため、教師の仕事の他に早朝に炭運び、夜はわらじ作りをしていました。

雪合戦をよくやったそうである。そして子ども達と共に大きな雪だるまをこしらえて……といったように、気さくな性格で子どもから人気があったといえます。弁当を持って来られない子どもはこっそりとおにぎりを分けていたという話もあります。



疋田浩四郎

また、補修課を新設し、小学校を卒業した後の補習教育を充実させたりと、地域の青年教育にも熱心に取り組みました。村政(政治)が混乱すること(現状をどうにか自分たちの力で変えていこうと、青年達の教育を進めていったのです。浩四郎の指導が実を結び、明治25年の村政選挙では多くの青年会員が当選しました。教子(一人萩原角左衛門は村長となり、「植林」による経済基盤の強化と「教育」による人材育成により村の立て直しを実現していきました。

## 今を生きる私たちは

あきる野市の人口が8万を割り込むようになりました。少子高齢社会、過疎化、環境問題など私たちが直面している課題はたくさんあります。「自分一人の力では……」「どうせ誰かがやるでしょ」となれば他人任せにしてしまうことも少なくありません。ですが、50年後100年後を生きる次の世代のために今できること、今しかできないことがあるのではないのでしょうか。

「自分たちのことは、自分たちの力で」

浩四郎や戸倉の青年達の姿から学べることは多いように感じます。

(参考文献)『戸倉物語』『五日市町史』『村誌戸倉』『日本のペスタロッチ疋田校長』『あきる野市ゆかりの人』『あきる野ふるさと』「あきる野市デジタルアーカイブ」

ペスタロッチ……スイスの教育家。孤児教育・民衆教育に生涯を捧げた。

# あなたもあきる野の自然・文化・歴史の解説案内人！

## 市民解説員養成「市民カレッジ」

今年度も5月から市民カレッジ「入門講座」が始まりました。この講座は、あきる野市誕生を契機として平成8年度からスタートしました。講師の皆様や地域の皆様のご協力を得ながら、今年度で開設27年目を迎えました。

市民カレッジ「入門講座」は、市の再発見をテーマとした学習機会の提供と、学習成果を生かしたまちづくり活動のための市民解説員(学習ボランティア)養成講座として実施しています。学習科目は、地域の歴史・文化・自然について学習していただくため、自然史(Ⅰ・Ⅱ)、人物伝(Ⅰ・Ⅱ)、考古学(Ⅰ・Ⅱ)です。

Ⅱ、地域めぐり(Ⅰ・Ⅱ)、中世史、近世史、伝統産業、民俗芸能の12科目を2年サイクルで設定しています。少人数によるゼミナール方式を中心に、座学や現地学習を織り交ぜ、いずれの科目も市のことを知ることができ学習内容を留意しています。また、この全科目(12単位)と解説実習を修了した方に教育委員会が市民解説員として認定しています。市民解説員の皆さんには、市内探訪の企画運営や五日市郷土館等での展示解説などを通して、多くの方々にあきる野のすばらしさを伝えていただいています。

今年度も4月に受講者募集を行います。ぜひ、皆さんも市民カレッジ「入門講座」を受講して、市の魅力を再発見し、学習活動を通して新たな出会いを楽しんでみませんか。

## 市民カレッジ「入門講座」学習内容(各1単位)

科目	内容
自然史Ⅰ	あきる野の地質・地層、岩石
自然史Ⅱ	野鳥観察、植物観察
人物伝(Ⅰ・Ⅱ)	市内の優れた人物の心豊かな生き方と業績(田中丘隅、萩原タケ、千葉卓三郎、坂本龍之輔、海老澤峰章、岸忠左衛門など)
考古学(Ⅰ・Ⅱ)	考古学の始まり、考古学研究法
地域めぐり(Ⅰ・Ⅱ)	市内の歴史・自然などの地域理解と解説方法(市域8コース)
中世史	あきる野の中世(古代末期から戦国時代のあきる野)
近世史	あきる野の近世(江戸時代のあきる野の村々)
伝統産業	市内に受け継がれている伝統産業(江戸時代のあきる野の産業概観、軍道紙、黒八丈)
民俗芸能	市内に受け継がれている民俗芸能(市内のお囃子・山車、農村歌舞伎など)



「地域めぐり」講座風景



「自然史Ⅰ」講座風景